

晃の園だより

発行／特別養護老人ホーム晃の園（偶数月発行）

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

普通の生活だからこそ必要なもの

のんびりとした足取りの秋の後から遅れてやってきた紅葉を楽しんだのも束の間、気がつくとも今年のカレンダーも最後の一枚、12月になりました。どうやら季節のバトンは秋から冬へと渡されたようです。

これからしばらくは忘年会にクリスマス、そして年を越せばお正月と園でも行事が目白押しとなります。皆で一緒に賑やかに楽しく過ごす機会が多くなるのもこの季節ならではの楽しみ。これもまた年の瀬を感じさせてくれる確かな季節感ですね。でも、そんな皆で楽しむ行事が多いこの季節は、逆に自分だけの時間を楽しむことの大切さを感じさせてくれる季節でもあります。皆で賑やかに楽しむ時間と一人で静かに過ごす時間。普通の生活だからこそ必要なそんな両方の時間をこれからも大切にしていきたいと思います。

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



面会に来られた娘さんと一緒に、産まれたばかりのお孫さんにミルクを飲ませてみました。お孫さんを見る目は優しく愛おしそうにずっと微笑まれています。



この日は入居者様の101歳のお誕生日。隣のユニットからも特大クッキーのプレゼントが届きました。いつにも増してのんびり特大の笑顔でした。



秋晴れの空って本当に気持ちいいですね！食堂にも暖かな陽が差し込んでいました。陽の光を浴びながら皆さん気持ちよさそうにウトウトされています。



「髪を切りに行きましょう」と声をかけると笑顔で「ああ」とおっしゃり、その時から笑みが、いざ散髪が始まると終始笑顔ニコニコの笑顔でした。



金木犀を摘みに入居者様を誘いました。傍まで来ると「わあ、良い匂い！」と大喜び。両手を茂みの中に入れて「枝ぶり見ているからちょっと待って！」と。



元々の住まいが近所だったお二人が園の中でばったり再会。昔話に花が咲きました。暖かい陽射しの中、お二人は会話をゆっくり楽しまれていました。



晃の園の魅力をより多くの方々に



これまで入居者様のご家族や関連施設、そして見学者や実習生など限られた方たちへの情報発信として活用されてきた“晃の園だより”が、今後晃の園の魅力をより多くの方々に知っていただくことを目的として、地域の町内会や各種学校、そして福祉関連の事業所などにも配布させていただくこととなりました。勿論、内容もこれまで以上の充実を目指します。園だよりをこれからもよろしくお願いします。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには“晃の園”で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

い～しゃ～きいも～

の季節だよ～



暖かい食べ物が何より
のご馳走になる季節が到
来しました。

焼き芋を楽しむ素敵
シーンの数々をご覧ください。



炭と石
熱く熱して
召し上げれ
季節たっぷり
秋の味



待つ間
煙とにおいは
嗅ぎ放題
この間もまた
楽しからずや



天気にも
味方されての焼き芋会
祭りに続き連戦連勝



結局は
食べてなんぼの
石焼きいも
あつあつホクホク
笑顔満開…でした



楽しみ実る季節です

秋を探しに出かけてみました

秋到来！すっきりとした新鮮な空気と清涼感に満ちた高い空。外出するにはもってこいの季節です。当日は朝早くから身支度を整え、とても楽しみにされている入居者様もいらっしゃいました。

外出のお目当てはなんと言っても『食欲の秋』。スーパーには梅干や海苔などのご飯のお供のほか、季節の美味しそうなものが勢揃い、皆さん目を輝かせて選ばれていました。ではここで入居者様が詠まれた素敵な一首をご紹介します！



「スーパーの 中はすっかり 秋景色 月見の餅に 桃・栗・みかん」



買い物や外出って普段の私たちには何気ないことですが季節を感じたり、息抜きや気分転換に繋がっている大切なことですね。園で生活されている時とはまた違った笑顔を見ることができ、外に出てこそ感じ取れる季節の移り変わりを楽しんで頂けたようで、とても嬉しく思いました。



昭和の思い出

駄菓子屋『樂樂や』オープンです!!

10月20日、清響職員による駄菓子屋『樂樂や』が一日限定でオープンしました！“昔ながらの雰囲気・物・味”をテーマに昭和30年代をイメージして創られています。

まるで本当に昭和の時代にタイムスリップしたようですね。黒棒・きなこ飴・すこんぶ・さくら棒・チョコ・あめ…。昔懐かしい駄菓子がお店いっぱいに並んでいました。



開店と同時に

当日は開店と同時に大勢の入居者様が来て下さり大行列が出来るほどの賑わいに！
「子供の頃に戻ったみたい！」
「昔懐かしくてワクワクしちゃう！」
と大変喜ばれていました。中には種類が豊富で何にしようかと迷われている方もいらっしゃったようです。入居者様にとっては暮らしの潤いに繋がったようでした。次回の開店が今から楽しみです。

